【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和5年12月12日(2023.12.12)

【国際公開番号】WO2023/135850
【出願番号】特願2022-578841(P2022-578841)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　3/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　3/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月20日(2022.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
芯部材及び該芯部材を覆う外層からなるレンズであって、
該芯部材は、該レンズの光軸にほぼ垂直な方向に突出し第１及び第２の面を備えるフランジ部を有し、該フランジ部は、該第１の面に、該第１の面にほぼ垂直に突出し該芯部材の外周に沿って該外周の0.5パーセント以上の領域に備わる第１の突起部と、該第２の面に、該第２の面にほぼ垂直に突出し該芯部材の外周に沿って該外周の0.5パーセント以上の領域に備わる第２の突起部と、を有し、
該第１の突起部及び該第２の突起部は、それぞれが該外層の成形用のゲートと部分的に重なることができるように、該外周に沿って間隔を空けるか、該外周に沿ってそれぞれの一部が互いに重なるように配置されたレンズ。
【請求項２】
該外周に沿った該第１の突起部及び該第２の突起部の間の距離が該外周の40パーセント以下である請求項３に記載のレンズ。
【請求項３】
該芯部材の材料と該外層の材料とが同じである請求項１に記載のレンズ。
【請求項４】
該芯部材の材料と該外層の材料とが異なる請求項１に記載のレンズ。
【請求項５】
該フランジ部の他に該レンズの光軸にほぼ垂直な方向に突出する保持フランジ部を備える請求項１に記載のレンズ。
【請求項６】
該第１の突起部または該第２の突起部と該保持フランジ部とが連続して形成されている請求項１に記載のレンズ。
【請求項７】
芯部材及び該芯部材を覆う外層からなるレンズの製造方法であって、
芯部材であって、該レンズの光軸にほぼ垂直な方向に突出し第１及び第２の面を備えるフランジ部を有し、該フランジ部は、該第１の面に、該第１の面にほぼ垂直に突出し該芯部材の外周に沿って該外周の0.5パーセント以上の領域に備わる第１の突起部と、該第２の面に、該第２の面にほぼ垂直に突出し該芯部材の外周に沿って該外周の0.5パーセント以上の領域に備わる第２の突起部と、を有し、該第１の突起部及び該第２の突起部は、それぞれが該外層の成形用のゲートと部分的に重なることができるように、該外周に沿って

間隔を空けるか、該外周に沿ってそれぞれの一部が互いに重なるように配置された該芯部材を製造するステップと、

金型内に該芯部材を保持して該金型と該芯部材との間に射出成形によって該外層を成形する前に、該ゲートから該フランジ部の該第１の突起部の側及び該第２の突起部の側へ適切に材料が流入するように、該第１の突起部及び該第２の突起部と該ゲートとの相対的な位置関係または該ゲートの形状を調整するステップと、

該金型内に該芯部材を保持して該金型と該芯部材との間に射出成形によって該外層を成形するステップと、を含むレンズの製造方法。

【請求項８】

該第１の突起部及び該第２の突起部と該ゲートとの相対的な位置関係または該ゲートの形状を調整するステップにおいて、入れ子型を使用する請求項７に記載の製造方法。